



千葉市立貝塚中学校 学校だより

校訓： 自主・創造・練磨

第6号

令和7年10月16日(木)発行

千葉市立貝塚中学校

Tel 231-7077

前期終了、後期に向けて

校長 廣岡 徹彦



令和7年度も学校生活
の半分が終了しました。

生徒の皆さんは長かったと感じましたか。
それとも短かったと感じましたか。

前期を振り返って、生徒の皆さん日々の学校生活で行事や委員会活動、部活動、地域での活動で活躍する姿がたくさん見られ、とてもうれしく思います。

保護者、地域の皆様には、日頃より貝塚中PTA、各行事や参観等で学校へのご理解多くのご協力、感謝申し上げます。ありがとうございました。後期も生徒の活躍の場面がたくさんありますので、よろしくお願ひいたします。

生徒の皆さん令和7年度スタートの入学式、始業式でお話をしましたが、貝塚中学校の「校訓」として、「自主・創造・練磨」、「学校教育目標」として、「豊かな心と確かな学力を持ち健やかに生きる」生徒の育成。そして目指す学校像を「明るく元気な挨拶」、「花と笑顔と歌声の響く学校」、「地域から愛される学校」を意識して生活を送ることはできましたか。そして、生徒の皆さんの個々の目標は達成できましたか。

前期の最終日に担任の先生から通知表を受け取り、前期の自分の取り組みがどうだったか、一つの目安になったと思います。先生方からの助言も含め、4月からの自分の活動を振り返り、良かった点と課題となる点について考えたことを、これから後の後期の生活に活かし、学習、行事、委員会活動や部活動等で生徒の皆さんのが活躍を楽しみにしています。

前期終業式生徒代表の言葉

～前期の振り返りと後期の抱負～

10月9日(木)実施

1年生代表の話



明日から5日間の秋休みが始まりますが、皆さんは前期をどのように過ごしましたか。何かをやり切った人もいれば、悔いの残った人もいたと思います。私自身は、学年生徒会の活動に積極的に取り組み、前向きに自分の仕事ができたと思います。前期は学級委員長を務めさせていただきました。はじめての経験が多く、最初はわからないことも多々ありましたが、友達と協力して活動をしていくうちに、とても、やりがいを感じられました。これらの経験を活かし、これからも活動していきたいです。

次に学級のことをお話します。私たちの学級は、入学直後は、メリハリをもった行動がなかなかできていませんでした。しかし、体育祭や合唱コンクール、校外学習などの行事、日々の学校生活を通して、学級全体が団結しメリハリをもって行動できるようになったと感じています。今後はできるようになったところを伸ばしつつ、時間やルールがより守れるように改善していきたいです。

最後に、私たち1年生のことについてです。はじめは、北貝塚小学校と桜木小学校出身とで距離があり、同じ小学校の人とばかり関わっている様子が見られましたが、学級内での関わり、委員会活動や部活動を通して、協力し合う姿が増えてきたと感じます。学年の雰囲気をさらに良くするためにも、同じ貝塚中の1年生として協力し、良いところはさらに伸ばし、改善すべきところは改善していきたいです。

2年生代表の話



私が2学年全体として成長したなど感じたところは3つあります。1つ目は自主的に行動ができるようになつたところです。昨年度までは2分前着席を呼びかけられてから行う場面が多く見られました。ですが、2年生になって2分前着席を自分たちから行えている人が多くなりました。また、各クラスの反省や課題として多く挙げられていた授業中の私語も、今年度は反省や課題として挙がることがなく、そこも学年全体として成長したと感じました。2つ目は、積極的に取り組もうとする姿勢です。授業中に進んで発言をする人が多いことや、率先して委員会活動や係活動を行う人が多くいます。また、誰かが困っている場面があれば、係などを問わずに手伝いをしている人が多く見られ、成長を感じるとともに、学年のみんなの優しさに温かみを感じました。2つ目は、お互いを支え合いながら生活をしているところです。1年生の頃の様々な行事や日々の学校生活に加え、今年の体育祭を通して仲間のことをよく知り、お互いに励ましあったり、支えあったりして生活をしている人が多く、学年全体の仲が深まっているなど感じました。このようにたくさん良いところや成長したところがありますが、まだ改善すべきところもあります。挨拶や休み時間の過ごし方などです。私自身も、もう一度自分を振り返り、改善点や課題と向き合っていきたいです。また、これからすぐ学校の中心となります。よく周りを見渡して、自分だけでなく周りのこともよく考えて生活をし、よりよい学年を目指して成長できるように共に頑張っていきたいです。

3年生代表の話



皆さん、おはようござい
ます。今日で前期が終わります。中学3年生として迎えたこの半年間は、これまでの学校生活の中でも、特に中身の濃い時間だったように感じます。楽しかったこと、大変だったこと、嬉しかったこと、悩んだこと、いろいろな経験を通して、自分自身が

少しづつ成長できたと思います。まず印象に残っている行事の1つが、体育祭です。新しいクラスになって最初の行事で、始めはまとまらないことが多くありました。しかし、クラスで意見を出し合うことで、クラスがまとまつていきました。その中で私はクラスで団結することの大切さを学びました。最後の体育祭ということもあり、学年全体で協力し、練習することができました。体育祭本番では学年全員が全力を出し、最高の体育祭をつくることができました。また、修学旅行も忘れられない思い出です。一番思い出に残っていることは、班別活動です。班員全員が協力し、活動計画を立て、よりよい計画にしていくことが楽しかったです。当日は予定通りいかないこともありましたが臨機応変に対応することができました。中学校生活最後の校外での学習であったため、仲間を思いやることや、協力することの大切さを改めて学ぶことができてよかったです。日々の学習面でも、自分なりに努力を重ねた半年だったと思います。特に3年生になってからは、今までよりも一層勉強に力を入れていきました。自分の志望校への合格のために放課後は塾の自習室に行ったり、1、2年次の復習を行ったりして自分の学力を高めていきました。自分の努力が報われないことも多々ありましたが、これまでの自分を信じて残りの日々も頑張っていきたいです。そして進路についても本格的に考えるようになりました。最初は「まだ先のこと」と思っていた高校選びも、夏休みになると毎週のように学校見学に参加しました。初めて行く場所で緊張しながら説明を聞いていることが多かったです。その中でどの高校を選べば良いか迷った時は先輩が力を貸してくれました。そのおかげで自分が本当に行きたい高校を自分の力で決めることができました。後期は、いよいよ中学校生活のラストスパートです。残された時間を1日1日大切にしながら、学習も行事も全力で取り組みたいです。特に前期では、学年全体でメリハリがついていないことが多くありました。行事がひと段落すると、気が緩み、2分前着席ができないこともあります。後期はいよいよ受験が近づいてきます。今までよりも学年全体のメリハリが大事になってくると考えます。だから後期は受験生の自覚をもち、クラスで生活していきましょう。